

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 1月 28日

事業所名 BLUE PLAYS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	2 職員の配置数は適切である	3	2	・ハローワークに求人を出している ・SNS等を通じて募集をしている	・求人の継続
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	・事業所入ロ口に、スロープを設置している ・1階トイレに手すりを設置している。	・エレベーターがなく、バリアフリー化が不十分であるが、資金的に限界がある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	・月に1度、職員全員の職員会議を行っている。	・今後も全員参加の職員会議を行い、PDCAサイクルに広く職員が参画できるよう努めていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0	5		・新規事業所であり、回答時には未実施であった。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	4		・新規事業所であり、回答時には未実施であった。今後、公開する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		・現状、第三者評価は実施していない。 ・運営が軌道に乗ってきたら検討したい。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・1か月に最低1回、現場職員で職員研修を行っている。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・児童発達支援管理責任者が保護者と面談の上、計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	・「発達段階アセスメントシート」や、「S-M社会能力検査」等を活用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	・運動プログラムについては、代表取締役が立案し、当日のリーダーがアレンジして活動プログラムを決めている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・毎利用日、各目標ごとに評価を行い、児童発達支援計画に沿った支援を行うよう意識している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	・運動プログラムは必ず実施した上で、日によって様々な内容を行っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	・送迎等の関係でできない日もあるが、できる限り確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	・毎日、サービス提供記録を記入し、保護者にも共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・本人の様子、起こった出来事、どう対応したか、その結果どうなったか等を書くよう意識している。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・保護者と面談を行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	0	・保護者と面談を行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	・電話連絡や、行事予定表の写しを保管するなどして対応している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	・受け入れていない。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	・小学校・中学校等には情報提供を求めている。	・今後は、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等とも情報共有を行うよう務める。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		・まだ該当ケースがないが、必要時には情報提供を行う。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	・発達障害者支援センターでアセスメントをした方のアセスメントシート写しを頂いている	・助言や研修を受けたことはないため、今後検討したい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		・新型コロナウイルスの状況が落ち着き、事業所運営が軌道に乗った段階で検討したい。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		・協議会員でないため、正式参加はできないが傍聴参加を検討したい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・毎利用日、HUGで子どもの状況を保護者と伝え合い、共通理解を持っている。		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	5	・ペアレント・トレーニングは実施していないが、助言は行っている。	・職員各々が自己研鑽を積み、家族支援について助言ができるよう努めたい。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・丁寧な説明を心掛け、質問に何度でもお答えしている。	
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・月1回、保護者の希望があれば面談を行っている。	
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		・新型コロナウイルスの状況が落ち着き、事業所運営が軌道に乗った段階で検討したい。
		33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・児童発達支援者が一元的に対応している。	
		34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	5		・会報を作成する時間的・人的余裕がないが、事業所が軌道に乗ったら実施したい。
		35	個人情報に十分注意している	5	0	・研修を実施し、個人情報管理に対する意識を高めるよう努めている。	
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・電話・HUG等、複数のツールを活用している。		
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		・新型コロナウイルスの状況が落ち着き、事業所運営が軌道に乗った段階で検討したい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	・マニュアルを作成し、避難訓練等を実施している。	・マニュアル作成はしているが、保護者への周知は行っていない。新年度スタート後、HUGを通して周知したい。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・避難訓練計画書を消防署に提出し、実施している。		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・虐待防止研修、チェックリストの記入を実施している。		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	・身体拘束の規定を作成している。	・必要がある場合、十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		・アレルギーについては把握しているが、指示書は頂いていない。今後検討する。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	4	・ヒヤリハット情報を集約できるよう、Googleフォームを作成中である。	・来年度から、Googleフォームによるヒヤリハット事例の集約を開始する。	